

2019年武蔵野市オープンハウス（7月6日）のために

前回のオープンハウスでの懇談で回答がなかったもの、時間切れになったもの、その後出てきた新しい課題など。すでにご回答をいただいたものはAとして記入したが、住民が納得できるもの、納得したものとはかぎらない。

1) 交通問題

武蔵野市の「外環整備に伴う課題」は対応の方針 230p.~に交通（地域交通）の記述がある。具体的には①青梅街道インターチェンジができることによる武蔵野市内道路への影響について。

②女子大通りにつながる生活道路への車の流入について。

③宮本小路・東十一小路の交通量が、H14年には8000台/日だったのが、H27年には2800台/日になったが、また増加するのではないか。

■対応の方針では、関係する行政や警察と対策を協議するとあるが、1年2年ではできないことなので今からでも始めるべきである。

■武蔵野市周辺（特に吉祥寺）の直近の交通量のご教示を。青梅街道ICの予想利用量と、ICと「練馬外環の2」による吉祥寺周辺の交通量の変化はどうなるのか。

■武蔵野市の「交通問題」だけで、学習会を開催してほしい。

2) 安全

(1) 横連絡坑について（トンネル内において事故など発生した場合の避難方法）

①避難方法は決まったのか。横連絡坑という説明があったが、床版下方式の要望が出ている。

②横連絡坑の直径はいくらか。

③武蔵野市部分の横連絡坑の位置を地図上で示してほしい。

④トンネル内・横連絡坑の防災対策はどうなっているのか。

⑤横連絡坑の工事実績（経験）を教えてください。

⑥地震の時、横連絡坑の部分は安全なのか。

⑦横連絡坑の近年の工事の事故事例について知りたい。

A：首都高速中央環状品川線での事故。本線と換気所を接続する部分で起こった出水事故。

横連絡坑ではないが、工法が同じ。

⑧交通事故、火災事故のほか、サリンなどの化学物質、集中豪雨（何mm/hを想定しているのか）、テロの標的になった場合などについてどのように検討しているのか。

■2月のオープンハウスでは未定と言っていたが、東名側では本掘進で相当進んでいるから避難方法と横連絡坑の位置は決定しているものと思われる。

(2) シールド工事の安全

①横浜環状北線や首都高で作ったような第三者の地盤変動監視委員会を作ろうとしないのはなぜか。損傷と原因の因果関係を判断するのが当事者というのは公正ではない。

A：既存の検討委員会（トンネル施工等検討委員会のことらしい）を使うか、新しく作るかは決まっていないが、検討している。⇒結論はでたのか。

②補償を申し出る期間を1年間としていることは、トンネルが大深度であることを考慮すると不合理である。地質、地下水などに関係して変化が生じるのは、数年後になるのではないか。工事終了後1年間との補償期間は見直しが必要である。不具合が出てから1年としたらどうか。

③工事終了後、1年以上経ってから建物・地盤等に不具合、損傷が起きた場合、どこに申し出ればよいのか。供用後は管理部門へというが、外環の所有者は誰なのか。NEXCOはどういう立場なのか。仮に損害賠償を要求する場合、だれを相手方としたらいいのか。

(3) 野川の酸欠気泡発生問題などについて

- ① 1月17日説明会の後、古谷氏が気泡が安全であるという根拠について内容証明郵便で質問しているが、回答はしたのか。
- ② 酸欠空気の発生に関連して、「地下室のある家や井戸その他危険の可能性のある家について、申し出があれば、再度家屋調査をする」と説明書に書いてあった。説明会に参加した住民以外は知らない情報である。この広報は今後どのようにするのか。行政には地下工作物に関する資料があるはずなので、危険性がある家について住民からの申し出を待たずに調査をするべきである。

(4) 武蔵野市の緊急時避難計画の作成

- ① 緊急時（異常事態が発生または予測される場合）の避難計画について武蔵野市の「緊急時の避難計画」はいつ住民に発表されるのか。
- ② 緊急時とは「大量に土砂がトンネル内に流れ込んだ場合」とされているが、他にもあるのではないか。
- ③ 武蔵野市の避難計画については住民も参加して、至急、冊子に作ってほしい。
- ④ 武蔵野市議会が内閣総理大臣・国土交通大臣・環境大臣あてに提出した「緊急時避難計画策定を求める意見書」（平成29年6月27日）の実行を要望する。

3) 環境

- ① 大気汚染、排気ガスの問題 換気塔には脱硝装置をつけてほしい。外環国道事務所 HP の環境の項には電気集塵機と除塵装置設置の記載はあるが脱硝装置の記載がない。しかし、対応の方針（237p）には検討するとの記述がある。
- ② 大深度トンネル工事に使用するセグメント、裏込め材の成分、薬品名などの公表を求める。武蔵野市の地下水、ひいては水道水への影響は心配ないのか。武蔵野市の水道水の80%は井戸水である。薬物の注入をした場合、水質検査をする必要がある。
A：発注者側では、受注者が使用が認められている範囲で使う。薬品名までは特定していない。
- ③ 地下水の変化によって引き起こされる地盤変動を現時点、工事中、工事後に測定する必要がある。
A：地盤変動の調査は工事の中で考えている、
- ④ 環境モニタリング調査に低周波の項目を加えてほしい。③と同様に現時点から調査測定し、数値の比較ができるようにすべきである。
A：低周波の原因は車両の通行と、排気塔のモーターなど。供用後に低周波の測定はする。調査地点については不詳。

4) その他

- ① 掘削した土砂の運搬ルート、搬送方法、搬送先を知りたい。
- ② 平成27年の交通センサスに基づくB/Cの計算結果を教えてください。
- ③ トンネル技術検討委員会については、HP上で資料と議事概要を公表している。事業化した現況下ではトンネル施工等検討委員会についても、資料の公表と詳しい議事録を公表すべきである。
- ④ 工事の進捗状況及び日程を公表してほしい。
- ⑤ 地中拡幅部の現在の進行状態について。（落札業者名、設計、予算、問題点など）
- ⑥ 東京外環プロジェクトにはシールドマシンの位置を示すにあたり、距離（最近公表されるようになった）とセグメント数を入れてほしい。

文責；むさしの地区外環問題協議会